

平成28年度 千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権5年生大会 決勝戦

日時 2017年 2月11日(土曜日) 試合会場 成田市中台運動公園球技場

気象状況 天候：晴れ 気温11℃ 湿度20%未満 ピッチ状況 人工芝

市川トレセンA 2-0 松戸トレセン
(第1ピリオド) 1-0
(第2ピリオド) 1-0
(第3ピリオド) 0-0

天候、ピッチ状況ともに絶好のコンディションの中で行われた。決勝戦に駒を進めたのは市川トレセンA(以下、市川TC)と松戸トレセン(以下、松戸TC)。入場する時の選手達の引き締まった表情から好ゲームが期待された。松戸TCのキックオフでスタート。最初のシュートは1分、直接FKを松戸TC13番大木選手がねらうもGKの正面。市川TCは序盤はセーフティーに試合に入りながらも丁寧なパスまわしから隙を伺い3分、スルーパスに抜け出した22番宇井選手がシュート。その1分後には23番野口選手が中央から絶妙のスルーパス、このパスに左サイドからエリア内に進入した4番加瀬選手が落ち着いてゴールへ流し込み市川TCが先制。7分、先制をゆるした松戸TCにFKのチャンス13番大木選手のシュートは惜しくもサイドネット。松戸TCは8分には8番浦田選手が右サイドをオーバーラップ。人数をかけてゴールに迫りコーナーキックを得る。このコーナーキックから9番原選手が頭で合わせるもゴールならず。松戸TCは両サイドを起点にリズムをつかむと市川TCの守備ラインが若干低くなるものの市川もバランスを崩さず時折鋭いカウンターを見せる。市川TCは10分頃から適度な距離間で攻守一体となりゲームを支配し始める。松戸TCは縦を意識するもシュートに結びつかず市川TC1点リードで1P終了。市川TCのキックオフ。2分左サイドでボールキープした市川TC31番服部選手がファウルを獲得。松戸TCは守備において粘り強い対応をしていたが、この時カバーのポジションをとっていた選手がいたので、余っていたディフェンダーがボール状況により積極的に奪いにいくという選択もあればFKを与えず奪いきれていた可能性があったので惜しいシーンであったと思う。9分市川TCのコーナーキックに31番服部選手のヘディングシュートで追加点を奪う。11分松戸TCの攻撃。絶妙のタイミングでスルーパスに反応した16番島村選手がGKをかわしたがシュート惜しくもならず。カバーに入ったDFも素晴らしかったが12番GKの谷口選手の飛び出すタイミングも抜群であった。終始落ち着きがありチームに安心感を与えていた。2Pは市川TC2-0で終了。3Pは松戸TCは点をとるという意味統一の基、アグレッシブにプレッシャーをかけにいく。2分には8番浦田選手、13番大木選手が立て続けにシュート。点の欲しい松戸が中盤のルーズボールをことごとく拾い市川TCに前を向かせない。市川TCはやや押されながらも要所はしっかり対応し得点を与えない。押し込まれた時間帯に市川TC22番宇井選手の周囲をいかすプレー、ちょっとした時間をつくるプレーが押し込まれる展開の中で完全に相手に主導権を渡さない意味でも効果的だった。松戸TCも小柄だがアジリティ、技術の高い選手が多く最後まで諦めない姿勢は素晴らしかったが、市川TCが得点を許さず見事優勝を手にした。U12での更なる成長に期待したい。決勝戦は見ていて気持ち良かった要因として保護者の節度ある応援、激しくても正当なボディコンタクトではプレーを確保するなど審判団の的確なジャッジも素晴らしいものであった。

公益社団法人 千葉県サッカー協会第4種委員会 技術委員 / 角田 英海 記